

新しい司法書士像を求めて

ザ・フォーラム

《季刊》2008.10 No.76

発行

司法書士・行政書士
丹羽正夫事務所

〒461-0017
名古屋市中区東外堀町32
番地 鈴木ビル4F
TEL 052-962-9693
FAX 052-962-9633
E-mail info@niwaoffice.com
URL http://www.niwaoffice.com/

登記・法律問題など、
お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



グローバル経済と法律実務家

司法書士 丹羽 正夫

昨年夏の夏にサブプライムローン問題が表面化して以来、アメリカの金融市場の混乱と原油・資源の高騰とも相まって、世界経済は後退局面を迎えることになった。その後、アメリカは消費の低迷が加わり、住宅価格の一層の下落が進み、証券会社や地方銀行の破綻が相次ぐことになり、金融市場の収縮から世界経済の先行きは極めて不透明なものとなった。我が国もこうした動向を受けて、春以降景気が悪化しており、九月一五日のアメリカ第四位の証券会社、リーマンブラザーズの破綻によって一層の景気後退が懸念されている状況にある。

我が国は、春以降マンションをはじめとする住宅販売の不振が続ぎ、建築・不動産関係業界の倒産が増加している。自動車・機械をはじめとする輸出関連企業の業績の悪化も伝えられ、アメリカ経済の悪化が日本および世界の経済に大きな影響を及ぼしつつある。アメリカ経済が回復基調を取り戻すまでに早く三年といわれる中で、我が国も相当期間の不景気を覚悟しなければならないだろう。

住宅販売の地価が再び下落を始め、REIT資金の供給先であった海外ファンドの資金の引き揚げによって、ミニバブルと呼ばれ地

価が一気に高騰した都心の一等地などでは、不動産価格の下落が急速に進んでいるといわれる。一部では、取引価格が昨年来の半値八掛けにまで下落しているといわれる。それでも不動産市場の悪化懸念と地価下落による担保リスクを回避したい金融機関の融資の引締によって、不動産取引は大幅な減少を余儀なくされている。

遠いアメリカで起きたサブプライムローン問題が、今日、登記等を専門職域とする私たち司法書士にも直撃していることを考えると、改めて世界の経済がグローバル化していることを痛感させられる。今春以来、融資を伴う登記申請事件は著減し、そのために各登記所の窓口も閑散としており、半年前までは考えられない情景を呈している。

私たち法律実務家も、世界経済や景気動向に関心をもち、十分に理解して仕事を進めなければならない時代に入ったことを認識しなければならぬ。一方、取引先企業についても、景気動向を考察しつつ法律実務家としてできることは何か、経営上でアドバイスできることはないかなど、十分に経営実態に配慮して共存共栄を図る道を探らなければならぬ時代になったように思う。